

日本労働衛生工学会ニュース

JOHA News Vol.17 No.1, 2019 (通巻 No.25)

1. 第59回 日本労働衛生工学会郡山市での開催決定!!

令和元年11月13日(水)～15日(金)に福島県郡山市のビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）で開催されることが決定いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。なお、交流集会は郡山ビューホテルアネックスで開催されます。発表申込の締切は7月31日（水）です。詳しくは、学会ホームページをご覧ください。

2. 第92回日本産業衛生学会が名古屋市で開催されました

令和元年5月22日（水）～25日（土）に名古屋市の名古屋国際会議場で開催されました。メインテーマは「現場への貢献！ ～人・企業・社会を支える～」でした。

3. 第29回日本産業衛生学会全国協議会が仙台市で開催されます

令和元年9月12日(木)～14日(土)に宮城県仙台市の仙台国際センターで開催されます。テーマは「働きたい」を支える産業保健」です。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.doh.med.tohoku.ac.jp/zenkokukyougikai/index.html>

4. 第58回 日本労働衛生工学会（平成30年11月14日～16日）報告

平成30年11月14日～16日まで富山市の富山国際会議場において、第58回日本労働衛生工学会（田村三樹夫実行委員長）・第39回作業環境測定研究発表会（永井信哉実行委員長）が開催され、68件の一般口演、現場報告、共同シンポジウム、基礎講座、そして16件のメーカープレゼンテーションが行われました。工学会の様子をご紹介します。

日本労働衛生工学会 現場報告

11月14日には、「SDSが作業環境管理に果たす役割」について、土屋眞知子コンサルタントオフィスの土屋眞知子氏より講演があった。平成28年にリスクアセスメントの義務化が施行されて以来、化学物

質管理にかかわる一連のコンサルタント業務の経験に基づき、各事業場が苦慮している「SDS」に関して現場の実態が報告されました。

日本労働衛生工学会・作業環境測定協会研究発表会 共同シンポジウム

11月15日の午後は、共同シンポジウムの第1部「労働環境における工学的対策の変遷と今後の展望」と第2部「個人サンプラーを用いた作業環境測定をめぐって—今後の展開—」が開催されました。第1部では1. 厚生労働省化学物質対策課環境改善室の西田和史氏から工学的対策の変遷、実施許可制度とその見直しについて、2. 産業医科大学産業保健学部の保利一氏からリスクアセスメントにおける工学的対策の活かし方や、局所排気装置とプッシュプル型換気装置の技術的な考え方、多様な発散防止抑制装置について、3. 興研労働衛生コンサルタント事務所の岩崎毅氏から工学的対策について講演がありました。第2部では、場の測定と個人サンプラーによる測定の有効性と不足する情報、個人サンプラーで得られたデータの扱い等について、パネリストから問題提起がなされました。また、作業環境測定士に対する個人ばく露測定に関する教育の必要性についても意見がありました。



シンポジウムの様子

基礎講座1

15日11時からの基礎講座1では、「結晶質シリカの生体影響について—最近の知見—」(川崎医科大学 大槻剛巳氏)の講演がありました。珪肺症は古くから知られるじん肺症の一つで、主に結晶性シリカへの継続的なばく露によって肺の繊維化が生じる疾病です。近年、珪肺症の合併症として注目されている自己免疫疾患の発症について講演をいただきました。

基礎講座 2

16日11時からの基礎講座2では「作業環境マネジメント入門ーマーケティングからコンサルティングまでー」((一財)西日本産業衛生会環境測定センター大分事業部 田吹光司郎氏)の講演がありました。労働者の健康障害を防止するために、測定士が理解すべき作業環境マネジメント、測定機関の経営管理、測定・評価の管理やコンサルティング能力の必要性などについて、組織論としてのお話を伺うことができました。

総会

11月15日の12時より総会が開催されました。出席者と委任状で定足数を満たすことを確認後、議事次第に沿って総会が進み、決算及び予算について了承されました。次回の工学会・測定協会研究発表会を、平成31年11月13～15日に、福島県郡山市において開催することが了承されました。

講演内容は抄録集に詳しく掲載されており、写真は当学会ホームページからご覧いただけます。工学会事務局にて残部を販売しておりますので、ご興味がおありの方は工学会事務局までお問い合わせ下さい。また、労働衛生工学58号(2019)にも発表内容がまとめられております。

5. 第12回国際労働衛生工学会が2020年に韓国大邱で開催されます

第12回国際労働衛生工学会(The 12th International Occupational Hygiene Association (IOHA) International Scientific Conference (IOHA 2020))が2020年10月16～22日に韓国大邱のEXCOで開催されます。テーマは「Bridging gaps in OH development, Opening new horizon」です。世界中から産官学の労働衛生の専門家が集ってシナジー効果を産み出し、新たな労働安全衛生の歩みを進める機会を提供する、意欲的なテーマになっています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.ioha2020.org>

文責 編集委員会 小野真理子

日本労働衛生工学会ニュース JOHA News Vol.17, No.1 (通巻25号) 2019年7月8日

発行: 日本労働衛生工学会 The Japan Occupational Hygiene Association (JOHA)

編集責任者: 小野真理子 労働安全衛生総合研究所

事務所: 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

産業医科大学産業保健学部 環境マネジメント学科内

TEL: 070-3101-6017 E-mail: info@joha-org.jp

学会ホームページ <http://joha-org.jp/>